



火災・救急・救助 119

消防瓦版纏

まとい

No.443

富良野広域連合富良野消防署占冠支署
56 - 2119

収れん火災にご注意を!

太陽の光がなんらかの物体により反射または屈折し、これが1点に集まることを「収れん現象」といいます。その場所に燃えやすい物があると発火して火災に至る場合があります、それが「収れん火災」です。

収れん現象の発生原因には、虫眼鏡のような凸レンズによって光が1点に集まるものと、凹面鏡などによって反射光が1点に集まるものの2種類があります。

救急出場状況 (7月分)

交通事故 1件(0人)
一般負傷 6件(6人)
急病 6件(5人)

7月計 13件(11人)
累計 142件(117人)
※()内は傷病者搬送人員



主な事故事例

吸盤

100円ショップで購入した吸盤で張り付くシルバーマークを車内後方の窓に付けていたら、後部座席シートから煙が出て、シートカバーが少し燃えていた。通常車内で使用する吸盤は、レンズのように光を集めないように色付きか半透明ものが多いが、購入した吸盤は透明だった。

農業用ハウス

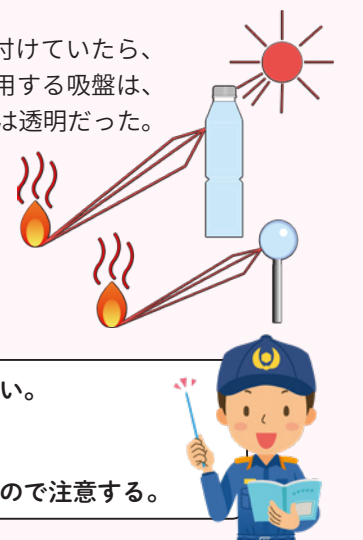
農業用ハウスの屋根や天窓の溜まった水を放置すると、溜まった水がレンズとなって光を集め、ハウス内の資材から発火した。

ペットボトル

水が入ったペットボトルを自動車内に放置してシートを焦がした。

対策

- ・窓際や太陽光が差し込む範囲には、鏡等レンズになりそうな物を置かない。
- ・遮光カーテンを使用する。
- ・ペットボトルを自動車内に放置しない。
- ・朝夕や冬場は太陽の高度が低く、部屋の奥まで太陽光が差し込みやすいので注意する。



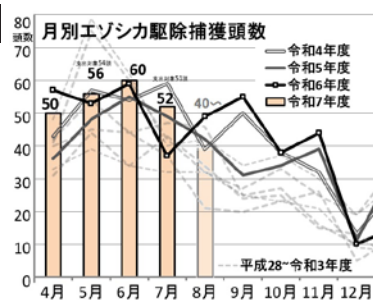
野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56 - 2174



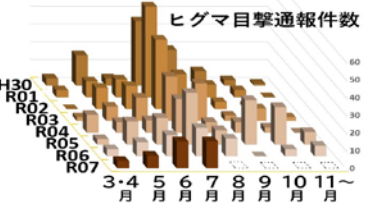
エゾシカ

7月の捕獲数は52頭。続く8月も3週目で40頭に達しており堅調です。無理なしムラ良し無駄なしで続けたいものです。



ヒグマ

ヒグマの静かな夏ながら、いくつか気掛かりな事案もあります。8月16日の中央千歳橋下流の出現情報に対しては、ヒグマの所在は不明でしたが市街地に入れぬよう非常線を敷き、周辺を捜索しました。双珠別東八線では8月20日以降、路肩でアリを食う動きがあり、長引けば



人と接触する恐れも増すので注視しています。

例年同様、デントコーンの食害が始まっていますが、昨年と同様に発生場所が限定的です。関与個体が少ないのかもしれませんが、被害抑止もさることながら、ヒグマ情報の獲得機会でもあり、巡視を続けています。被害圃場での箱わな捕獲は8月23日現在までに2頭です。



アライグマ

今期より機材も増備して捕獲に取り組んだ結果、7月の8頭、8月の5頭を含む15頭の捕獲を得ています。今後も地域の皆さまのご協力を仰ぎ、取り組んでまいります。

◆そのほか◆

ふるさと祭りでは「ひぐまテント」へ多くのお運びありがとうございました。今後もさまざまな場で普及と交流に努めてまいります。



地域とともに

コミュニティ・スクール情報
～占冠中学校～

教育委員会学校教育担当 56 - 2182

占冠学園として

トマム学校との合同行事

5月に修学旅行(3年生)、7月に宿泊研修(2年生)をトマム学校と合同で行いました。生徒同士の打合わせはオンラインで行うなど連携を図り、互いの交流を深め、思い出に残る行事になりました。3年生の修学旅行は、最終日に震災遺構である仙台市立荒浜小学校を見学しました。震災遺構とは、東日本大震災などの大きな自然災害で被害を受けた建物や場所をそのままの姿で保存し、当時の被害の大きさや教訓を伝えるための施設や跡地のことです。今過ごしている日常が当たり前ではないこと、家族・友人など身近な人を大切にすること、震災のことを知り見て聞いたことを伝えていくこと、一人一人が多くのことを学び考える時間になりました。

占冠中央小学校との合同行事



5月に第3回小中合同運動会を行いました。学年の垣根を越えて協力し合う姿や、全力で競技に取り組む姿が数多く見られました。今年度は、第1回小中合同文化発表会を9月27日(土)に行います。例年同様、小学校の学級発表と中学校の自由創作発表、中学生による「探究」発表を行います。「探究」とは、「SDGsの視点から考える占冠村」をテーマとし、自分で課題を見つけ、調べ、考え、解決の方法を探っていく学びです。答えが決まっていなかった問題に向き合い、皆さまへのインタビューや調べたことから、自分の力で答えをつくり出していくことを目標としています。多くの村民の皆さまのご来場をお待ちしております。

占冠学園構想の充実に向け、中央小学校との乗り入れ授業や合同行事、トマム学校との授業協力や合同学習の開催など3校が協力して、地域全体で子どもを育てる取り組みを進めているところです。今後も、地域や関係校とのつながりを大切にしながら、子どもたちの豊かな学びと成長のために、占冠学園としての取り組みを着実に進めてまいります。



こちら駐在所です

占冠駐在所
56 - 2110

秋のヒグマによる人身被害の防止

～ヒグマとの事故を防ぐために～

複数で行動し、音で存在を知らせましょう

野山には1人で入らず、複数で行動するようにしましょう。入山するときには熊鈴やラジオ等を持って、会話しながら人の存在を知らせましょう。

ヒグマの出没情報等に気を付けましょう

薄暗いときの行動は避け、野山に入る前には新聞やラジオなどでヒグマの出没情報等を確認しましょう。

残飯や生ごみの処理には注意しましょう

ヒグマはいったんごみの味を覚えると、それを目当てにごみ捨て場などに繰り返し出没するようになります。ごみを野外に放置したり、埋めたりしないようにしましょう。

フンや足跡、食べた跡を見つけたら、すぐに引き返しましょう

ヒグマのフンや足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返しましょう。

落ち着いて行動しましょう

万が一ヒグマに遭遇した場合は、落ち着いて行動しましょう。逃げたり、騒いだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ襲われる危険があります。

熊撃退スプレーや熊鈴を携帯しましょう

野山に入る際は、万が一ヒグマに遭遇した場合に備え、熊撃退スプレーや熊鈴を携帯しましょう。

